



11月21日、長年同一職業に従事し、優れた技能を社会発展のために役立て、功績のあった技能職者を顕彰する「令和7年度南国市技能功労者表彰式」が行われました。受賞者の方を紹介します。

👑 八松 右一 さん(片山) 調理人／経歴41年



1984年から日本料理店で日本料理の基礎を学んだ後、実家の仕出し料理店や江戸前寿司店で調理技術の習得に努めながら、これまで本市に根付いた料理の提供に携わってこられました。また、海外でハラルやヴィーガン料理も学び、現在ではインバウンドの外国人向けのヴィーガン・ハラル料理を提供するなど、本市の観光業発展にも貢献されています。



① シリーズ国営ほ場整備 ④ 一時利用地の指定

ほ場整備事業では、工事が完了すると農地として耕作が可能となりますが、正式な土地の割り当て（換地処分）が行われるまでには、測量や各種手続きのため、数年を要する場合があります。

この期間中、地権者の皆さまが安心して農地を利用できるよう、県知事が工事完了後の区域を「一時利用地」として指定する制度があります。一時利用地の指定により、換地処分が完了するまでの間、新しい地権者が使用・収益を得る権利を受けることが可能になります。



■問い合わせ／農地整備課 ☎088-880-6586

① 戸籍の振り仮名届出窓口を変更します

令和7年5月26日に改正戸籍法が施行され、戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が追加されることになりました。本籍地の市区町村長から通知書が順次発送されています。

振り仮名の届出窓口を第三会議室で行っていましたが、市民課市民係③窓口に変更しました。詳しくは市のホームページをご覧ください。



■問い合わせ／市民課市民係③窓口 ☎088-880-6574

新副市長が就任しました

渡部 靖 副市長

令和7年11月5日に開かれました、第442回市議会臨時会において、渡部靖氏の選任が全会一致で同意されました。任期は令和7年11月6日から4年間です。



よろしく
お願いします

ハートくごめん

信条

Life will be passes like clouds, but you should do something for human being before die.

人生は雲のように過ぎ去るものだが、死ぬ前に人間のために何かすべきだ。

MD TASNIM ALAM
(モハメド タスニム アラム)



307



こんにちは。バングラデシュ出身のモハメド タスニム アラムです。高知大学医学部(博士課程)で生理学を学んでいます。日本に来る前は大学で生物学を教えていました。脳のさまざまな機能について研究がしたいと思い高知大学に志願しました。

初めて日本に来た2021年12月は新型コロナウイルスの感染拡大防止ため、入国して14日間ホテルから出ることができませんでしたが、日本の冬は寒すぎると感じました。

私の故郷は首都ダッカから北へ約300kmのところに位置するランプルという町で、農業と漁業が主な産業です。日本と同じような野菜を栽培しており、漁業は主にガンジス川で漁をします。バングラデシュでは海の魚はあまり食べず、川魚を食べます。特にイリシュ(ヒルサ)という魚がおいしく、バングラデシュの国魚になっています。

バングラデシュの料理と言えば、ビリヤニがお勧めです。バスマティライスという種類の米と鶏肉や牛肉、油、スパイスなどを入れて作る炊き込みご飯です。私も時々作ることがあります。

バングラデシュでお勧めの場所は、長い砂浜で有名なコックス・バザール・ビーチ、マングローブ林や野生動物が見られるシュンドルボン

国立公園、そして国内最大のダム湖のカプタイ湖です。

私が高知で好きな場所は仁淀川と香南市の西川花公園で、どちらもとてもきれいだと感じました。またバングラデシュの学校で広島の実験のことを学んだこともあって、休日に広島へ行ったことがあります。

来年の3月に博士課程が修了した後も、他の大学でより高度な研究を続けたいと考えています。そして将来はバングラデシュに戻って研究成果を国のために役立てたいと思っています。

—南国市の学校を訪れてどうでしたか？—
普段、学校を訪問できる機会はないため、この研修でさまざまな規模の学校を訪問し、子どもたちの姿を直接見ることでできたこと、それぞれの学校の実態を知ることができたことは、大変貴重な経験となりました。まず印象に残ったのは、子どもたちの素直さと明るさです。

—普段はどんな仕事をしていますか？—
文部科学省では、小・中・高校における外国語教育を担当しています。具体的には、英語教育の実施状況を調査したり、英語教育におけるAIの効果的な活用に向けた実証研究を実施したりしています。また、現在は教育課程の基準である学習指導要領の改訂に向けた議論を進めています。

11月17日〜12月5日まで南国市教育委員会が文部科学省の職員を受け入れる「地方教育行政実務研修」が行われました。今回研修を受けた木村文香さんにお話を聞きました。



文部科学省
木村 文香さん

—今回学んだことをどう生かしますか？—
今回の研修は、学校現場の実態を知るとともに、学校教育の重要性を改めて実感する機会となりました。子どもたちにより良い学校教育を提供することができるよう、研修での学びや気づきを大切にしながら、今後の仕事に誠意取り組みたいです。

—高知の休日はどうでしたか？—
この時期でも天気の良い日が多いことに驚きました。休日に訪れた高知城や足摺岬では、青い空の下で素敵な写真を撮ることができました。また、紹介された飲食店をたくさん巡りましたが、初めて食べたオーロラソースのチキン南蛮や四方竹のおいしさに感動しました。これまでタケノコは少し苦手だったので、四方竹との出会いは新たな発見となりました。

—また、学校現場における教員不足の実態を知ることができたことも、大変有意義でした。教員不足により学校現場がどういった状況にあるのか、実際に見て具体的な状況を知ること、その深刻さを理解できたように思います。

また、学校現場における教員不足の実態を知ることができたことも、大変有意義でした。教員不足により学校現場がどういった状況にあるのか、実際に見て具体的な状況を知ること、その深刻さを理解できたように思います。

気さくに声をかけてくれる子どもたちが多く、積極的に授業に向かう様子も見られました。児童自立支援施設に設置された学校で、学びに向かう子どもたちの姿も印象に残っています。